



チーム・サステナビリティ

EcoNetworks

私たちは、世界 192 カ国にネットワークを広げる
環境と経済と語学のスペシャリスト集団です。



理念 Mission

私たちがめざすのは、人と自然と社会の新しい関係。
一人ひとりの「個」を、そしてカエルやミミズのような生き物を
大切にできる、サステナブルな共生社会です。

だから

私たちは、ネットワークの力を駆使して
文化の壁を越え
距離の壁を越え
時間の壁を超え
常識の壁を超え
人と自然、人と組織の壁をも越えて、
人も自然も、誰もが幸せを共有できる共生社会の礎を築いていきます。



メッセージ Message

CEO 小林一紀

Point of no return.

人類は今、大きな岐路に立たされています。

溶けゆく氷河、広がる砂漠、干上がる湖、異常気象。

スピードを加速しながら人口増を続ける人類、枯渇しつつあるエネルギー。

開発を「善」とし、経済発展を続けてきた人類が、

はじめて価値観と意識の変革を迫られているのです。

この地球規模の試練を前に、私たちにできることは何でしょう？

・・・その答えはシンプルです。「自らが変わること」。

その変化のキーワードとなるのが、「サステナブル」です。

幸い、私たちは、世界中を瞬時につなげる

ネットワークという力を手に入れることができました。

この力は、使い方ひとつで、小さな小さな「個」のアイデアを

世界中に広げ、大きなムーブメントへと育てることも可能にします。

エコネットワークス (ENW) は、チーム・サステナビリティ。

従来の「会社と従業員」というカタチではなく、

志を同じくする環境、経済、法律、社会、語学、

各分野のスペシャリストである「個」の集まりです。

組織にとらわれない自由な発想と、柔軟なワークスタイルで、

プロジェクトごとに、さまざまな領域のプロフェッショナルが

チームを組み、最適な解決策をご提供します。

企業と個人、日本と世界、消費者と技術者、さまざまな異文化の

コミュニケーションを支援し、共振の場をつくることで、

改革のムーブメントを広げ、サステナビリティの力に

変えていく触媒となり、共生社会の実現に貢献したいと考えています。

小林 一紀 (こばやし かずのり)

1976年東京生まれ。19歳で渡米し、ニューヨーク州立大学を経て、カリフォルニア大学バークレー校天然資源学部を卒業(環境経済学・政策学科)。

コンサルティング会社勤務を経て、2005年からエコネットワークス代表取締役。NGO ジャパン・フォー・サステナビリティ マネージャー、東京大学大学院工学部システム創成学科 非常勤講師も務める。現在、高尾山の奥、藤野町に在住。

訳書に、「マネー崩壊～新しいコミュニティ通貨の誕生」(B.リエター著、日本経済評論社、2000年)、『シリコンバレーは死んだか』(M.ケニー著、日本経済評論社、2002年)など。



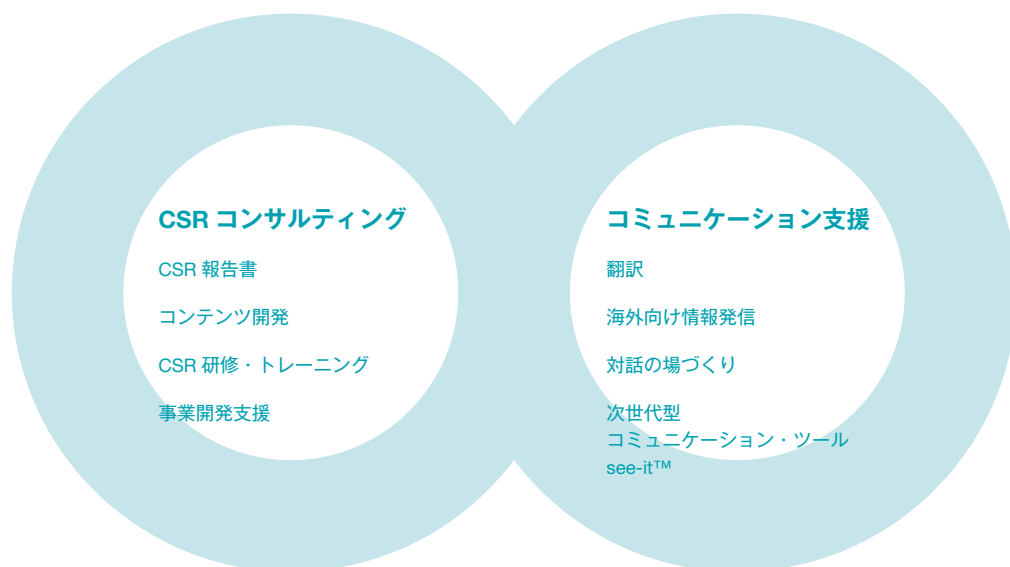
業務内容

私たちの仕事は、社会の持続可能な発展のための「CSR コンサルティング」と「コミュニケーション支援」です。

従来の「会社と従業員」というカタチではなく、志を同じくする各分野のスペシャリストである「個」が集まり共振する、無限の可能性を秘めたチーム力が私たちの一番のセールスポイント。エコロジーとエコノミーを両立させる今までにない付加価値を提供し、持続的な発展のための取組みをサポートします。



業務の全体像



チーム・サステナビリティ



世界 192 カ国





CSR コンサルティング

どのように、
サステナビリティを取り入れ
カタチにすればいいのでしょうか？

ひと口に「サステナビリティ」というのはカンタンですが、
「どう取り入れ、カタチにすればいいかわからない・・・。」
そんな悩みはありませんか？
私たちは、社会の中でお客さまが置かれているポジションを客観的に分析し、
今とるべき CSR・環境経営戦略を提案いたします。

エコネットワークス (ENW) はここが違う！



圧倒的なネットワークと情報力がある。

私たちは、国際機関、SRI 格付け機関、主要な NGO や市民団体を含め、世界 192 カ国のステークホルダーとのつながりを広げています。国内外に広がる圧倒的なネットワークと情報力。だからグローバルかつ包括的な視点、切り口を提供できます。



実績が証明する情報発信の技術がある。

パートナー組織 JFS は、過去 5 年で 2,000 を超える環境記事と、「サステナビリティ」や「指標」の研究成果を世界に発信し続けています。ノウハウを共有する ENW では、50 を超える個別企業・組織の国内外への情報発信を支援してきました。伝えたい人に伝えたいことが確かに伝わる情報発信をご提案します。



サステナビリティの思考力がある。

私たちは日々、ネットワークを駆使してサステナビリティの研究と情報発信を実施しています。その経験に基づいて、「サステナビリティとは」「サステナビリティ経営、サステナビリティ・コミュニケーションとは」を掘り下げ、お客さまとの対話を通して新たな思考を提供します。



エコネットワークス(ENW)のサービス



CSR報告書

環境やサステナビリティ、CSRに対する関心が高まるにつれ、多くの企業や自治体などが取組みの内容を発信するようになりました。コンセプトメイキング、企画構成立案から、実際の取材・執筆・編集まで、きめこまかな具体的アドバイスをを行いながら、お客さまの報告書作成のお手伝いをいたします。



コンテンツ開発

パンフレットから、ニュース、コラムまで。子どもから、投資家まで、読者の思考回路や関心事項にあわせて、「頭だけではなく心に届く」コンテンツをお届けします。



CSR研修・トレーニング

社内向け、CSRチーム向け、経営層向け、パートナー向け、お客さま向けなど。参加者の思考回路や関心事項にあわせて、「頭だけではなく心に届く」研修・トレーニングをお届けします。



事業開発支援

商品やサービスに、サステナビリティの原則を取り入れたい。お客さまのご要望にあわせ、コンセプトから、具体的な基準、方針、チェックリストの開発・作成をご支援します。



コミュニケーション支援

心に届く 効果的に伝わる

コミュニケーションが
できていますか？

どんなにすばらしい CSR 経営や取組みも、
効果的なコミュニケーション能力がなければ、社内外に伝えることができません。
ENW は、単なる情報発信ではなく、確かな専門知識とネットワークで、
届けたい人や場所に的確に届くコミュニケーションを実現し、
新たな付加価値の創造につなげます。

エコネットワークス (ENW) はここが違う！



確かな専門知識がある。

専門分野の翻訳では、実力、実績ともに日本一を自負しています。環境・CSR・サステナビリティに対する確かな知識を持つ 25 名もの翻訳者のネットワークで、政府や企業の公式レポートなど、和文約 30 万文字、英文約 14 万ワード（共に年間）の翻訳を手がけています。加えてコーディネーターの丁寧なサポートで納得いくコミュニケーションを実現します。



圧倒的なネットワークがある。

世界 192 カ国につながる圧倒的なネットワークで、素早く世界各地の情報を収集・分析。どこにも負けない、サステナビリティに関する思考と情報発信の技術で、信頼性の高いコンテンツを開発しお届けできます。



課題を解決する対話力がある。

国内外に広がるステークホルダーと常に対話し、企業、NGO、有識者、研究者、一般市民の思考と立場を理解しています。そして、サステナビリティの課題を理解しています。さまざまな立場の仲介にたって、課題の解決策を建設的に導き出す対話を行うことができます。



エコネットワークス (ENW) のサービス



翻訳

「翻訳の質に納得いかず、修正が大変だった」そんな経験はありませんか？

環境や CSR の分野では、専門用語の正確な翻訳だけでは、読み手に伝わらないことがあります。

ENW は、背景となる知識もあわせて有するネイティブ翻訳者と翻訳コーディネーターがそろっています。心に届く質の高い翻訳と丁寧なサポートで、環境、CSR、サステナビリティの専門的文書の和訳・英訳をお手伝いします。



海外向け情報発信

世界 192 カ国に広がる ENW のネットワークと語学力を活用し、海外向けの、環境、CSR、サステナビリティの情報発信、グローバルコミュニケーションをサポートします。



対話の場づくり

「社外の意見を取り入れたいけど、誰に聞けばいいの?」「海外の専門家にアドバイスを求めたい」

そんな時もおまかせください。国内外に広がるネットワークを持つ ENW だからできる人選とアレンジメントで、対話の場を提供いたします。お客さまが社会に求められる「あるべき姿」を模索し、中長期の戦略立案に。生活者、投資家、ビジネスパートナー、NGO、国際機関、行政機関などとの対話・ダイアログをご活用ください。



次世代型コミュニケーション・ツール see-it™

see-it™はカナダの Visible Strategies 社が開発した、次世代型のサステナビリティ・コミュニケーション・ツールです。CSR や経営に関する戦略やプランをシンプルに統合し、リアルタイムで双方向なコミュニケーションを実現します。



実績

CSR 報告書

大手自動車、金融、通信、小売、電機企業などのべ 15 社
レポートに関する受賞歴

- ・ 東洋経済新聞社 環境報告書賞
- ・ 地球人間環境フォーラム 環境コミュニケーション大賞
持続可能性報告優秀賞、環境報告マイスター賞など

コンテンツ開発

大手金融 温暖化ファンド関連ブックレット
大手金融 社内向け CSR ニュース
大手流通 CSR 方針
中堅小売 お客さま向けコラム

CSR 研修

大手通信 CSR 経営に関する講義
大手メディア 海外への環境情報発信に関する講義
学会年次総会 サステナビリティ指標に関する講義
国立大学大学院 サステナビリティ論に関する講義

翻訳

大手企業 CSR レポート
IPCC 第四次レポート
CDM/JI マニュアル
国際会議 プレゼンテーション資料

海外向け情報発信

大手モビリティ 海外向け CSR 情報発信アドバイス
大手展示会 海外 PR と英語ツアー
大手電機 欧州向け CSR メッセージ開発
大手電機 グローバル CSR メッセージ開発

対話の場づくり

大手食品、建設、金融、小売、消費財などのステークホルダー・ダイアログ
大手モビリティ 欧州ステークホルダー・ダイアログ
大手金融 マテリアリティ調査の企画
大手 10 社と米国投資ファンドの対話仲介

次世代型

グリーン電力利用促進の全国的なキャンペーン

コミュニケーション・

ツール see-it™



会社概要

会社名	有限会社エコネットワークス
所在地	〒214-0034 神奈川県川崎市多摩区三田 1-12-5-138
Tel&Fax	044-933-7639
URL	http://www.econetworks.jp
設立	2002年7月
資本金	300万円
代表取締役	小林一紀
役員	多田博之

沿革 ヨハネスブルグ地球サミットが開催された2002年、エコネットワークスは、持続可能な社会を目指す NGO 「Japan for Sustainability」のパートナー組織として設立されました。世界に向けて環境情報を発信し、サステナビリティ指標の研究や垣根を超えたコミュニケーションをサポートする同組織の活動を、収益を通じて支援する役割も担っています。

アクセス 小田急線生田駅より徒歩10分。

